各 位

昭和ホールディングス株式会社 (コード番号 5103 東証第二部) 代表取締役 CEO 此下 竜矢 代表取締役社長 重田 衞 問合せ先 取締役財務総務担当 庄司 友彦 (TEL. 04-7131-0181)

業績予想の修正について ~平成29年3月期(連結)通期業績予想~

当社は、本日平成29年3月期第2四半期決算短信を公表させていただきましたが、引き続き、平成29年3月期(連結)通期業績予想を公表すべく検討を進めております。

しかしながら、当社の重要な子会社であります Group Lease PCL.(以下、「GL 社」といいます。)並びにそのグループ会社の成長が著しく、急速に利益が増加しております。

しかも本年第2四半期(7月から9月)並びに第3四半期(10月以降)におきまして、

- 2016年7月に免許を取得して操業を開始したインドネシア共和国でのファイナンス事業が、初四半期 ※1ですでに利益化したこと。
- スリランカ民主社会主義共和国のファイナンス会社 Commercial Credit and Finance Plc※2 を持分法 適用関連会社化すること。
- ミャンマー連邦共和国においては Micro Finance 会社 BG MICRO FINANCE MYANMAR CO.,LTD. を完全子会社するとともに、ミャンマー最大の企業グループ※3 との提携を行うこと。
- ※1 当社における平成29年3月期第2四半期
- ※2 同社は総資産は約5億ドルとGL社自身を上回り、成長性においても2009年から現在までに資産規模を54倍、売上を100倍、利益を327倍も増加させております
- ※3 ミャンマー連邦共和国におけるウィスキー市場の65%を占有し、マツダ、FUSO、Mercedes Benz などの総代理店でもあり、ミャンマー全国に22,000以上の販売網を有している

などの経過や発表がありました。またその他にも

- カンボジア王国における True Money 社との提携
- 主にミャンマー連邦共和国で事業展開しているシンガポール共和国の IT 会社 Bagan Innovation Technology Pte.Ltd.社への出資
- インドネシア共和国の PT Bank JTrust Indonesia Tbk.への出資によるパートナーシップ強化
- 戦略的パートナーへの現在の株価を大幅に超える転換価格での転換社債の発行
- 大幅な金融費用低下を伴う社債発行

などの発表も行われております。

このように GL 社の各国事業が急速に発展するとともに、上記のような大型のしかも大きな可能性を秘めた各種の非連続的な成長の可能性が示されております。同社は資金調達も極めて潤滑に行われており、当社としては大きな収益貢献を期待しております。

一方で、この数カ月間において極めてダイナミックに事業拡大が進んでおり、それぞれの事象が大きな可能性を秘めている状態です。

従いまして、当社といたしましては下期以降においては大きな収益の上振れが期待されるものと考えておりますが、

- その詳細についてはさらに情報の収集、検討が必要であり、
- よって、投資家の皆様に現時点において不確定な情報をお出しするのは不適切であり、
- 当社のような成長企業においては、会社が業績予想を発表すること自体がそぐわない

などの点を考慮し、会社による業績予想の発表は当面控えさせていただくことといたしました。

日本の独自の風習であります当該業績予想発表ですが、今後さらに検討をした上で、早期に皆様に発表できるように尽力してまいります。

以上